

学長のコラム

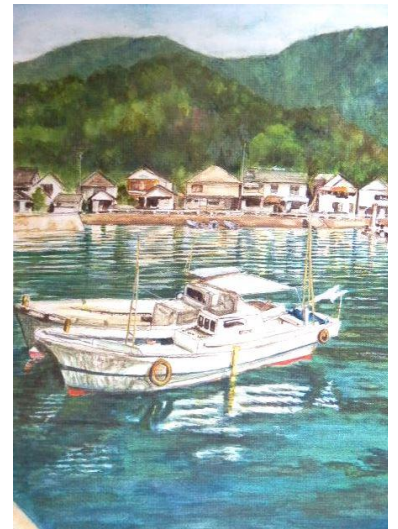
減災フィールド演習

「減災リテラシー入門」の中のフィールド演習は、今年は、本学アリーナで、学生に運営を任せる形での避難所体験であった。14時に集合、避難所の運営に関する講演の後17時頃からアリーナに移動し、まず班員（家族を想定）を探すことから始まった。熊大43名、県立大17名、熊保大130名の計190名を、各大学の学生を混在させて6人程度になるように各人の班の番号が事前に掲示されていた。自分だけが班の番号を知っている状況で、どのように班員を探すか？ 皆さんならすぐアイデアが浮かぶと思いますが、学生間ではそれがなかなか実行されず、うろろう、すべての班が形成されるまで20分程度要したであろうか？前途多難である。次に、段ボールとガムテープを用いた簡易トイレの作成。これは、さすがネット世代、スマホで作成方法を検索して実施する班も多く見られた。次は、援助物資が届いたとの想定で、夕食（おにぎり乾パン等）の配布。ここでもトラブル。配布する係や配分ルールも決められぬまま、班員が殺到。配布された食料の量も質も班ごとに大きく差の出る結果となった。その後、個別交渉により、配分量は若干是正されたが、その後の振り返りの時間での反省材料となった。別室で90分程度の振り返り・プレゼンとトイレ作品の予選通過作品選出をして、アリーナに戻り、8組程度で決選、3組が選ばれて、賞品として食糧（おにぎり）を獲得した。こうして、22時頃第一日目の行事を終えた。学生たちは、トランプや、談笑で騒がしい修学旅行状態で、夜中2時過ぎまで静まらず、私も、ステージ上に段ボールを敷いて寝ようとしたが、3時ごろまで眠れなかった。

翌朝は、6時ごろに目覚め、朝ご飯づくり。用意された炊飯用のビニール袋に米と水を入れ、熱湯が沸く大釜に浸けて約25分。出来上がりを班員に分配してレトルトのカレーをかけて食べる。32ある班の代表が集まって炊飯順序の時間割を昨夜のうちに決めていたのは、進化であったが、炊飯作業そのものは、初めての経験でもたついていた。

やがて、グループ間でのリーダーらしき人が顕在化し、ごちないながら全員に食事が行き渡った。その後、9時半頃に、それぞれに配布してあった、訓練での役割を書いてある封筒を開封、熊本市北消防署のトリアージ訓練がはじまった。

避難所で、食中毒が発生したのと想定である。訓練スタートの合図の後、意識不明の高齢者役（赤色のトリアージの想定）の私は、トイレへのドアのところで横たわって救助を待った。ずっと目を閉じていたので詳細は不明であるが、ストレッチャーで救急車に運ばれ、熊本医療センターに運ばれるというところで、“先生ご苦労様”と救命士の声がかかった。その後、また、90分程度の振り返りとプレゼンを実施し、解散となった。私の生きている間にはもう経験することはないかもしれないが、若い学生諸君には、ボランティアの機会もあるし、もう一度震災を経験するかも知れないので、今回の経験が必ずや役に立つであろう。



7月・8月・9月の主な行事予定

7/31(月)	前期定期試験(予備日含む)7/31~8/8
8/4(金)	助産別科臨地実習適格認定書授与式 10:30~3104S 講義室
8/7(月)	学術講演会「脳回路から脳機能を眺める」15:00~17:00
8/9(水)	H29.4.2(日)入学式(出勤日)の振替休日
8/10(木)	職員夏期休暇(8/10~8/17)
8/10(木)	GSLC(大邱保健大学)4名派遣(~19日)
8/11(金)	久しぶり、逢おうかい(会)!! 16:00~ホテル日航熊本
8/20(日)	第2回オープンキャンパス
8/23(水)	第1回SD研修会 10:00~
8/24(木)	第1回FDセミナー 13:00~
8/27(日)	チャレンジ熊保大! 推薦入試対策講座
9/1(金)	情報セキュリティ研修会 13:00-14:30
9/6(水)	職員旅行(柳川・日田方面)(~7日)*幹事・看護学科
9/8(金)	大邱保健大学交換研修生7名派遣(~21日) コンケン大学交換研修生4名派遣(~21日)
9/20(水)	学校法人银杏学園 理事会
9/22(金)	認定看護師教育課程 認知症看護分野修了式
9/25(月)	後期ガイダンス
9/26(火)	後期授業開始・レストラン開始

世界禁煙デー 禁煙週間イベント「禁煙川柳大会」

今年も世界禁煙デー(5月31日)に合わせて、禁煙川柳大会を開催しました。今年は、3賞の他に、学生ノミネート作品10句を売店横に掲示し、一般学生による投票形式で入賞作品を決定しました。表彰式では「禁煙について考えるきっかけとなった」という学生の言葉もあり、来年度は広報活動を積極的におこない、さらに多くの学生に禁煙について考えてもらいたいと思います。

(文責：学務課)

- 学長賞** 今どきの 結婚条件 禁煙者 (miko)
- 学生委員長賞** 子の寝顔 たばこに置いた手 引っこめる(P-chan)
- 事務局長賞** 快感を 味わい続け 肺癌に (ズリー)
- 学生投票**
- 第一位** タバコ吸う 余裕あるなら タコバする (ズリー)
- 第二位** 息止めて サッと過ぎ去る 通行人(にぎりめし三郎)
- 第三位** 「かつこいい? それは映画の 話だけ」 (北島)

*

「避難所体験演習を行いました！」

本学アリーナにおいて、3大学合同の宿泊避難所体験演習が2回にわたって行われました。

1回目(6/24-25)190名、2回目(7/8-9)227名、計417名の大学生が参加。総勢、熊本大学(105名)、熊本県立大学(37名)、熊本保健科学大学(274名)の学生と教職員です。3大学共通の科目名は「減災リテラシー入門」、本学においては「災害時における保健医療」です。5~6名のグループに分かれて、段ボールを使った簡易トイレや寝床作りを行いました。また、北消防署と一緒に避難所の配給物資で集団食中毒が起こった想定でのトリアージ訓練なども実施しました。もちろん食事は乾パンなどの非常食のみ。最低限の水とビニール袋を使ってご飯も炊きました。この演習を通じて、避難所生活での他者への配慮、ルール作り、リーダーシップの大切さなど、多くのことを学びました。

(文責:地域包括連携医療教育研究センター 竹熊 千晶教授)

(左下写真)「重症患者としてトリアージされる学長」



九州インカレ壮行会

6月16日(金)のおお休みに、第67回九州地区大学体育大会(九州インカレ)壮行会を開催しました。本学から参加する夏季大会競技は、バスケットボール(男女)・バドミントン(男女)・バレーボール(女子)・サッカー(男子)です。高濱副学長から、長渕剛の「乾杯」の歌詞を引用した熱い激励の言葉を頂き、学生たちも気合が入ったことでしょう!(文責:学務課)



広西医科大学(中国)訪問団、来学!!

平成29年6月26日、日中保健・医療・福祉フォーラムで本学と交流実績のある広西医科大学から、莫副学長以下6名の訪問団の方々が来学されました。崎元学長の本学説明に対し、特に看護教育を中心とした質問が次々と出され、予定の時間を超えて白熱した意見交換が行われました。

(文責:河瀬 晴夫事務局長)



私の秘話ヒストリー

今回はリハビリテーション学科・理学療法学専攻の 鏑木 誠講師に投稿していただきました。

私の『すばらしい趣味』

過日7月16日、桜島・錦江湾横断遠泳大会(桜島~鹿児島市:4.2km)にリハ学科教員5名で参加した。泳ぐには気持ちいい快晴の錦江湾の海を、雄大な桜島を背にしながら全員で完泳することができた。思い起こせば4年前までの不健康な生活からは想像もつかない『すばらしい趣味』を継続することができている。

このような遠泳の他にも、マラソンやトレイルラン(金峰山三山山岳マラソン:フードパル~小萩山~三之岳~二之岳~金峰山~フードパル:42km)、ブルベ(熊本もしくは福岡周辺をロードバイク自転車走行:200km)などに毎年参加している。すべては、毎年6月中旬に開催される五島長崎国際トライアスロン大会(長崎五島内:スイム3.8km~バイク180km~ラン42km)に参加するためのトレーニングの一環である。

イメージが湧かない方のために説明すると、桜島から鹿児島市まで泳いだ(桜島・錦江湾横断遠泳大会)後に、自転車鹿島から熊本まで走行(ブルベ)し、最後に熊本城マラソンを走る行程を15時間以内に完走するという過酷なレースである。これを私の師匠でもある松原先生と過去3回出場しており、初出場からすべて完走できている。

4年間の『すばらしい趣味』の中で獲得できた定期的な運動、バランスの取れた食事、リカバリーの為の休養といった健康管理能力と自己の身体を通して経験したトレーニング方法とその理論的な考え方は、今後の私の人生を大きく助けてくれる貴重な財産である。これらすべては、到底一人では獲得することはできず、周りの皆様のサポートがあったからこそであり、感謝の気持ちを伝えたい。「ありがとう!」

